



志布志市立原田小学校 学校だより

原田の風

令和7年度7月号
令和7年7月17日
発行



ホーム
ページ
更新中

「茹でガエル」にならないために…

校長 伊藤 啓博

A4用紙1枚の重さは、紙の種類によって異なりますが、一般的に約4gから5g程度です。うちわで扇ぐと簡単に飛んで行ってしまいます。飛ばないようにするためには「重し」が必要です。しかし、これが1束500枚となると2kg(4g×500枚=2,000g)となり、うちわで扇いでも簡単には動きません。それが、1箱(5束)となると10kgとなり、かなりの強風でないといくともしません。

「人」は「正しいこと」を知っています。しかし、「人の心」は弱いものです。

道徳科の中の「価値」は普遍のものですが、「価値観」は一人一人違います。

「楽しいと思うこと」は、一人一人違い、それが「正しいこと」でないこともあります。「正しいこと」かどうか、その時々を考えることが必要になります。「これくらいはいいかなあ。」と思うと、1枚の紙のように「正しいこと」は簡単に飛んで行ってしまいます。そして「茹でガエル現象(生きたカエルを突然熱湯に入れば飛び出して逃げるが、水に入れた状態で常温からゆっくり温度を上げていくと、危険を察知できずそのまま茹でられて死んでしまうという説話。[実際にはあり得ません。] 緩やかな環境変化下においては、それに気付かず致命的な状況に陥りやすいという警句。)」につながります。気がついたときには「時すでに遅し」となり、取り返しのつかないことになってしまいます。よって「重し」が必要となります。子供たちにとってそれは発達の段階にもよりますが、保護者であり、先生であり、周りの大人です。そして、これは私たち自身にも言えることですが「自分自身」です。「正しいこと」を選び、実践する力(1枚の紙)、その積み重ねた思いは、やがて1束となり、1箱となり、ゆるぎない「自分」となります。自己を見つめること、振り返ること、そして「正しいこと」を選ぶ、その繰り返しが自分自身そのものを「重し」とします。「学び」も同じで、一つ一つの積み重ねが自信となり、自らの力となります。

ゲームやSNS、夜遅くまで起きていたい、昼まで眠りたい、勉強したくないなあ…等々、様々な誘惑があるかとは思いますが、「正しいこと」を選んだ「素敵な自分」を想像しながら、日々過ごしていきましょう。長々となってしまいましたが、自戒の念を込めて伝えさせていただきました。「続けること」は、辛く苦しくもあります。もちろん、たまには自分に褒美(休み)も許しながら…。

いよいよ夏休みに入ります。保護者や地域の方々の御協力で、大きな事故や怪我もなく1学期を終了することができそうです。ありがとうございました。今年の夏休みは44日間!!です。家族や親戚との絆を深めたり、夏休みにしかできないような経験もしたりして有意義に過ごしてほしいと思います。健康で安全な夏休みを過ごせますように。

いつも以上にがんばりました！

6月20日(金)

今年度初の授業参観。1年生は国語の授業。アサガオを観察して、気がついたことを文で書く学習でした。2年生も国語の授業。学校の中で自分が見つけた「すてきな。」と思うものについて、発表しました。3年生は算数の授業。ばうで表したグラフの学習でした。4年生は国語の授業。お礼文を書く学習でした。5年生は社会の授業。普段食べているものは、どの都道府県からやってくるのか、学習していました。6年生も社会の授業。縄文時代と弥生時代のくらしを比べる学習でした。はるかぜ学級は国語の授業。夏の俳句をつくっていました。たんばろ学級も国語の授業。時を表す言葉を使って文章を作る学習でした。

いつも以上にはり切っている子、いつも通りの子それぞれでした。保護者の皆様に、子どもたちの頑張りの様子、そして、クラスの様子がわかっていただけたことでしょう。これからも、仲間と共に学び合ってほしいです。

貴重な体験 ありがとうございます

7月7日(月)

今年もスクールガードの峯崎さんのご厚意で、ブルーベリー狩りを実施することができました。子どもたちは持ってきたタッパーいっぱい採ったり、その場で食べたりしてブルーベリー狩りを楽しみました。「たくさん採ってジャムにするんだ!」と話す子も。大きめのブルーベリーを手慣れた様子で摘んでいく姿に、とても感心しました。毎日登校時に、子どもたちを見守ってくださる峯崎さん。今年も貴重な体験をありがとうございました。

7月12日(土)

原田和太鼓童・翔の下原光男さん、湯浅洋さんたち5名の方々が来てくださり、和太鼓体験教室を行いました。まず初めに、和太鼓の種類や名前、音の違いを紹介してもらい、太鼓について学びました。次は実際に太鼓をたたき体験。コミュニティー協議会の協力で今年度はバチも作っていただきました。それを手に好きな太鼓を選び、簡単なリズムの練習。それを、「APT」の音楽に合わせてたたきました。そして、太鼓だけの曲の練習。楽譜を見ながら、練習をしました。太鼓の数には限りがあるので、子どもたちは半分に別れ太鼓をたたき練習でしたが、見学している子たちも手で練習。最後は、フレンドリーグループでの発表。どのグループも練習の成果を発揮できました。翔の皆さん、バチの用意に前日の準備と、ありがとうございました。



学びを深めるために～4年生・6年生社会科見学～



4年生と6年生は社会科見学に行きました。授業で学習した内容を深めるよい機会になりました。

6月13日(金)

森山浄水場とそおりサイクルセンターを訪れた4年生。森山浄水場では、水をきれいにしたり、運んだりする機械をたくさん見学させてもらいました。志布志市は水が元々きれいなのだそうです。それが一番印象に残ったようです。次に出かけたのは、そおりサイクルセンター。資源ゴミを処理するところです。天ぷら油をどうしているのか、ペットボトルはどうするのか、缶は強力磁石でアルミ・スチールにわけているということなどどのようにリサイクルしているのか、集めた資源をどのようにまとめるかなど学習しました。「写真を撮ってはいけなかったけど、紙おむつをおむつの原料にリサイクルする、世界に1つしかない機械を見ることができた。」と嬉しそうに話してくれました。何もかもがリサイクルできることを、改めて学習できたようです。



6月27日(金)

志布志市役所と埋蔵文化財センターを訪れた6年生。志布志市役所では、まず危機管理グループの方から話を聞きました。実際に災害が起こり避難所を設置すると、300人以上の人々が避難するので、家族や知り合いと共に過ごすことができるプライベート空間を作っている話を聞いた6年生。実際にプライベート空間に入り、寝ながら大きさを体感しました。次に、カメラマンを務めている方に話を聞きながら、たくさんの部署を紹介してもらいました。議会も見学する予定だったそうですか、開会が遅れてしまい見ることができなかったのが残念でした。次に訪れた埋蔵文化財センターでは、土器や石器、埴輪、鉄製のものなど、志布志市で発掘された物を見学しました。初めて知り驚いたこと、疑問に思い質問して解決したことなどがあり、充実した見学だったようです。



冷静な行動・早めの備えを大切に!



6月14日(土)

大雨により下校が困難になったことを想定し、引き渡し訓練を行いました。近年、大雨による災害も多く、鹿児島でも1993年8月6日に多くの被害が出た水害が起きています。訓練では、保護者に引き渡しの経路の確認をしてもらいました。災害は「いつ何が起るか分からない。」という気持ちを持ち、普段から備えをしておかなくてはなりません。ぜひ御家庭でも災害時取るべき行動や連絡先の確認、災害の備えなどについて話し合い、実際に災害があった場合は慌てずに行動できるよう準備してほしいです。「備えあれば憂(うれ)いなし」といいます。何事も事前に準備しておくことが大切です。



練習の成果を発揮しました～水泳学習参観 WEEK～

7月第1週目、体育の時間に水泳学習の様子やこれまでの練習の成果を見てもらうため、今年度から、設けた水泳学習参観 WEEK。暑い中、連日多くの保護者の方に来ていただき、ありがとうございました。1・2年生。水泳学習が始まった頃、顔に水がかかるだけで嫌がっていた子もいましたが、潜ってじゃんけんできるようにになりました。3・4年生、1・2年生よりも潜る時間も長く、クロールで25m初めて泳げた子もいました。5・6年生、クロールの練習を何度も行います。平泳ぎの練習もしました。高学年になると、グツと運動量が増えますね。子どもたちは水泳学習期間を通して、ずいぶん成長する姿を見せてくれました。

8・9月の行事予定

8月11日(月) ～16日(土)	学校閉庁日
15日(金)	子ほめの日
21日(木)	出校日



9月1日(月)	始業式・大掃除
6日(土)	第2回 PTA 地域合同愛校作業
12日(金)	給食試食会・歯みがき教室(1年) 授業参観(5校時 全学年) 宿泊学習保護者説明会(5・6年)
15日(月)	敬老の日 子ほめの日
19日(金)	がんがらちゃん
23日(火)	秋分の日
26日(金)	1・2年生活科見学(午前中)



《 学校閉庁日のお知らせ 》

8月11日(月)～16日(土)の6日間は、志布志市公立小・中学校閉庁日です。閉庁日設定の目的は、教職員の健康を保持・増進し、心身のリフレッシュを図ることと、総実勤務時間の短縮を図ることです。御理解と御協力をお願いします。

※ 学校閉庁日の緊急連絡先
(志布志市教育委員会 学校教育課
099-472-1111)